

【知的障がい】
（釧根圏）

釧路管内

北海道釧路養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒085-0054 釧路市暁町11番1号
- 問 合 せ 先 TEL 0154-24-7827
FAX 0154-25-3439
E-mail kushiroyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.kushiroyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「今を 明日を 自分らしく 心豊かに 生きる人を育てる」
- 校 訓
「よさや持ち味を発揮する児童生徒」「豊かにかかわり合う児童生徒」
「自分から進んで取り組む児童生徒」



- 概 要
本校は、昭和54年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。高等部は平成10年に設置され、在籍生徒は第1学年29名（うち2名訪問）、第2学年23名、第3学年27名（うち2名訪問）です。身辺処理能力の向上や基本的な生活習慣の確立に重点を置き、進んで物事に取り組む力や自分の気持ちを伝える力、一人一人が自分らしさを伸ばしながら生活を楽しむ力を育てることを目指して指導しています。寄宿舎では、聴覚障がい（北海道釧路鶴野支援学校）の舎生と共に生活指導の充実を図っています。

■特色ある教育活動

保護者や地域の人々の支援をもとに可能な限り社会に参加し、健康で心豊かな生活を送るための能力や態度及び習慣を育成するため、次のような生徒を育てます。

- 「見たことや感じたこと、自分の思っていることを伝える生徒」
- 「自ら積極的に働きかけ、生きる喜びを見いだす生徒」
- 「進んで体を動かし、元気に活動する生徒」

【 ひまわりフェスタ 】

保護者や地域の人に日常の学習の成果を発表する場であり、音楽や劇の発表、バザー販売、ゲームや喫茶店の運営などに取り組みます。

【 スポーツフェスティバル 】

体育的な学習の成果を保護者に発表するという目的で、2月に実施しています。体育としての取組だけでなく、特別活動や生活単元学習の時間の活動として、実行委員会や係活動に取り組みます。

【 現場実習 】

卒業後の進路先を決めるために、生活介護事業所や就労支援事業所で1日～2週間、実習生として活動します。卒業後の生活がイメージできる現場実習を通して、卒業後の生活に向けた課題を明確にしています。



ひまわりフェスタ



作業学習



現場実習



校外体験学習



生活単元学習



スケート学習

■第1学年生徒の週時程表

【 A課程 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（学習準備・朝の会等）				
	体力づくり／自立活動				
2	国語、数学／自立活動				
3	生活 単元 学習	国語/ 自立活動	作業 学習	生活 単元 学習	作業 学習
4		生活単元 学習			
5	日常生活の指導（給食）				
6	体育	HR	体育	音楽	日生
7	日常生活の指導（清掃・帰りの会）				

【 B課程 】

国語、数学の時間が生活単元学習もしくは自立活動になります。

【 C課程 】

すべての時間が自立活動になります。
年間35時間程度、道徳の時間を設定します。

* AおよびB課程は個々の障がいの実態により体育の時間の一部または、すべてを自立活動の時間に替えることがあります。

* 登校時間 8：50（月～金）

* 下校時間 14：45（月～木）／13：15（金）

■教育課程の特徴

A課程、B課程、C課程の3つの教育課程を編成しています。A課程は、日常生活の指導や生活単元学習などを中心に教育課程を編成します。毎日本力づくりに取り組み、健康な体づくりを重視した指導を行っています。B課程とC課程は、自立活動を中心に教育課程を編成します。自立活動教諭と連携しながら目標や学習活動を設定しています。どの課程においても、生徒の将来の生活を見据え、生活に生かせる力となる知識や技能、態度及び習慣を育成することを大切にした指導を行っています。

□ 作業学習

リサイクル、紙工、清掃、手芸の4つの作業班に分かれて活動しています。1年ごとに本人や保護者と相談しながら作業班の選択をしています。

□ 生活単元学習

一連の活動を総合的、实际的に学習することによって、生活に必要な知識や技能を身に付けられるよう指導しています。本校の立地を生かして、周辺の店舗や施設へ出かける学習も計画的に実施しています。

□ 体育

夏季にはプール学習（R2年度はコロナウイルス感染症対策のため中止）、冬季には、屋内アイスアリーナを貸し切ってスケート学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和2年度実績）

- 福祉的就労～13名【就労継続支援B型、生活介護 など】
- その他～1名【家事手伝い】

学校QRコード



釧路管内

北海道釧路鶴野支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住所 〒084-0924 釧路市鶴野58番92
- 問合せ先 TEL 0154-57-9011
FAX 0154-57-3390
E-mail tsurunoshien-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.tsurunoshien.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「自立をめざして 明るく 元気に 努力し続ける人を育てる」
- 校訓
「全力」「前進」「笑顔」



- 概要
本校は、聴覚障がい教育（幼稚部、小学部、中学部）と知的障がい教育（高等部）を行う学校として平成26年に開校しました。平成31年4月からは、新たに2つの職業学科と普通科を設置しています。設置する6学科がそれぞれ特色ある学習活動を展開し、歴史と伝統のある釧路で、自立と社会参加に向けた人材の育成を目指しています。

■特色ある教育活動

高等部の目標

- ・働き続け、地域社会で自立した生活を送るための知識や技能を育てる。
- ・様々な経験を通して自己有用感を高め、自己理解、自己選択、自己決定できる力を培う。
- ・健康的な生活習慣を身に付け、働き、地域生活を楽しむための体力を培う。
- ・釧路鶴野支援学校の一員としての自覚を促し、他者の立場を尊重し思いやる気持ちを育てる。

【 職業学科（環境・流通サポート科） 】

作業学習では、主にビルクリーニングなどの清掃や製本などに取り組みます。

【 職業学科（福祉サービス科） 】

作業学習では、主に介護基礎技術に関する学習や喫茶サービスなどに取り組みます。

【 職業学科（生産技術科） 】

作業学習では、主に紙製品や窯業製品の製作、販売に取り組みます。

【 職業学科（情報ものづくり科） 】

作業学習では、主に情報通信技術を活用し、工芸品等の製作・販売に取り組みます。

【 職業学科（食品デザイン科） 】

作業学習では、主に地元の食材を活用した食品の開発、製造、加工、販売に取り組みます。

【 普通科 】

各教科等の学習、特に職業や総合的な探究の時間を中心に、就業体験やボランティアなど様々な体験活動に取り組み、将来の自立に必要な知識と技能を身に付けます。



環境・流通サポート科：ビルクリーニング



福祉サービス科：疑似未来体験
(外部講師による授業)



生産技術科：小鉢の製作（窯業）



情報ものづくり科：ベンチの製作



食品デザイン科：煎餅の製造



普通科：校内環境整備活動
(総合的な探究の時間)

■第1学年生徒の週時程表

【 職業学科（環境・流通サポート科） 】

	月	火	水	木	金
1	セルマネ	セルマネ	数学	セルマネ	数学
2	情報	作業 学習	セルマネ	総探	作業 学習
3	音楽		家庭	国語	
4	道徳		職業	外国語	
5	作業 学習		保健 体育	国語	
6			美術	社会	

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	セルマネ	セルマネ	数学	セルマネ	職業
2	外国語	職業	セルマネ	総探	職業
3	音楽	総探	職業	数学	総探
4	道徳	総探	家庭	情報	総探
5	国語	保健 体育	国語	社会	HR
6	コミュニケーション		美術	理科	

* 登校時刻 8:45 (月～金)

* 下校時刻 15:25 (月～木) / 14:30 (金)

■教育課程の特徴

「地域で自立し、明るく元気に 働き続ける人を育てる」ことを目指しています。

- セルフマネジメント（全学科）
自己を理解し、目標達成に向けて主体的に取り組む態度を育成することを目指した学習です。自分の課題や日頃の取組について教師と一緒に振り返る学習「じりつ」と、自分の身体の変化に気付くための運動を行う学習「チャレンジ」があります。
- 作業学習（職業学科）
働く力を身に付けるための学習です。様々な作業（仕事）に取り組み、働くための基礎・基本的な力を身に付けます。地域と連携した学習を通して、地域で働く意識を高めます。
- 総合的な探究の時間（普通科）
地域資源を活用した様々な体験学習に取り組み、主体的に課題と向き合うなど、自ら学ぶ姿勢を育てます。職業など各教科等の学習と関連付け、習得した知識を実際の場面で活用する力を育てます。

■卒業後の主な進路先について（令和2年度実績）

- 就職～13名【一般就労9名（小売業、介護補助など）、就労継続支援A型4名】
- 福祉的就労～8名【就労移行支援6名、就労継続支援B型2名】
- その他～2名【進学、他】

学校QRコード



根室管内

北海道中標津支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：なし

■学校の基本情報

- 住所 〒086-1053 標津郡中標津町東13条北7丁目15番地2
- 問合せ先 TEL 0153-72-6700
FAX 0153-72-6701
E-mail n-koyo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.n-koyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「社会参加・自立を目指し、生き生きと活動する児童生徒を育てる」
- 校訓
「健康」「思いやり」「意欲」「協力」

□ 概要

本校は平成8年に開校した職業学科を設置する特別支援学校です。地域資源を活用した体験的な学習を通して、卒業後の社会参加と自立に向け、一人一人の目標を達成できるようにしています。寄宿舎では、基本的な生活習慣の確率と、集団生活の中で互いに協力することや責任を果たすことを目指しています。なお、令和元年度より小・中学部を開設し、高等部の職業学科に在籍する生徒と、小・中学部の普通科に在籍する児童生徒が、一つの校舎で学んでいるところが特徴です。



■特色ある教育活動（設置学科：園芸科 窯業科 木工科 家庭総合科 クリーニング科）

高等部教育目標

「生徒一人一人の個性や状態などを根拠をもって適切に理解（アセスメントの活用）し、社会参加と自立を目指す生徒（カッコいい大人）を育てる。」

【 生徒主体の個別の指導計画 】

令和3年度の新しい取り組みとして、個別の指導計画を生徒主体の様式へ変更しました。保護者に向けて目標や手立て、評価を伝えるものから、生徒と目標と一緒に考え、その成果を自分で評価したり、教師の評価を伝えたりするものになりました。「カッコいい大人」を目指してどのような力を身に付けたいか、生徒が主体的に目標を立てられるよう、学校は新1年生から学年進行で、寄宿舎は全学年で変更をして進めていきます。

【 地域資源を生かした総合的な探究の時間 】

地域と関わる活動について、研究・実践・発表をすることで、自らの良さや課題に気付き、主体的かつ協働的に課題を解決する姿勢を身に付けることを目標に学習しています。第1学年は、町内のごみ拾いや商業施設の利用、調べ学習に取り組みます。第2学年は、学校周辺の幼稚園や小学校との交流及び共同学習で、学科の特徴を生かした製作活動などに取り組みます。第3学年は、学校公開説明会や販売を通して情報発信する学習に取り組みます。

※令和4年度は、クリーニング科の募集を行いません。



総合：交流学习



即売会：商業施設にて



職場見学：町内福祉事業所



作業：法被アイロン（外注）



生活単元学習：学年レクリエーション



進路：卒業生や事業所の講話

■第1学年生徒の週時程表

【 職業学科 】

	月	火	水	木	金
1	LHR	体力づくり			
2	作業 学習	進路 学習 ／ 美術	国語	作業 学習	数学
3			保健 体育		生活 単元 学習
4		音楽			
5	生活 単元 学習	作業 学習	作業 学習	国語	
6					

- * 登校時間 8：50（月～金）
- * 下校時間 15：10（月～木）／13：40（金）

■教育課程の特徴

- 作業学習
職業生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を習得し、勤労を重んじ進んで社会生活に参加する実践的な態度を養うことをねらいとしています。所属する学科の実習を3年間行います。役場、小学校の花壇整備、受注製品など、学科の特色を生かして様々な活動を行っています。
- 生活単元学習
将来や実際の生活場面に必要な知識や技能を身に付けることをねらいとしています。また、国語や数学など、教科の学習と関連させた実践的な活動や、町内の企業の方を講師とした学習に取り組んでいます。
- 進路に向けた学習
卒業後の生活を見据えた進路の学習に取り組んでいます。近隣の福祉サービス事業所やグループホームを見学したり、就労や生活について卒業生から話を聞いたりする活動を行っています。
現場実習は第1学年は1週間、第2学年は3週間、第3学年は最大5週間行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和2年度実績）

- 一般就労（就労継続A型含む～12名【小売業・清掃・水産加工・建設業】）
- 福祉的就労（移行支援／就労継続B型／自立訓練～15名）
- 生活介護／地域活動支援センター～3名
- その他～1名

学校QRコード

